

## 海外の紙幣とコインのご寄付をお願いします！

日本ハビタット協会は国内の主要空港に募金箱を設置していますが、日本円だけでなく海外の紙幣やコインも寄せられています。それらの外貨はさまざまなルートを活用して日本円に換金し、当協会の実施事業に活用しています。

ご自宅などに使用しない外貨がありましたら、当協会までお寄せください。現在使用されていない旧紙幣やコインも含めて、全ての国のものを受け付けています。みなさまのご協力をお願いします。



ご送付の  
海外の紙幣・コインを  
当会の実施事業に  
活用します！

### 送付方法

- コイン** ゆうパック、宅配便等（コインと記載ください）
- 紙幣** 一般書留、簡易書留
- コイン & 紙幣** 一般書留、簡易書留

送付先：〒102-0092 東京都千代田区隼町2-12 藤和半蔵門コープ103号 認定NPO法人日本ハビタット協会

## ハビタットクイズ?!

イギリスの現在の通貨単位は、1971年から1ポンド=100ペンスになっていますが、それまではとても複雑な通貨単位でした。

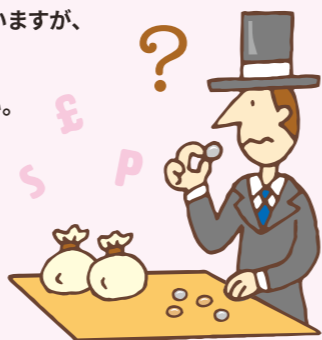
以下の(A)、(B)に当てはまる数字を①～⑤から選んで教えてください。

**ヒント** 今の10進法の前は、12進法と20進法でした。

① 1ポンド = (A) シリング      1シリング = (B) ペンス

(A)と(B)に入る数字を①～⑤から選んでみよう!

- ①... 5    ②... 10    ③... 12    ④... 20    ⑤... 24



## ご協力いただきありがとうございます

2022年6月1日～2022年11月30日

(敬称略・順不同)

みなさまのご支援ご協力により、多くの国と地域において、まちづくり事業を実施することができています。心から感謝申し上げます。

**会費** 岡部 晃子、内田 隆俊、長谷川 隆徳、笠 由美子、宮本 知枝、滝澤 進、富取 善彦、小林 一、柳瀬 コミ、佐藤 和恵、新井 てつお、赤枝 恒雄、藤田 美江子、上山 佳彦、藤本 貴也、中富 貴仁、堤 かなめ、藤 恵美子、酒井 純子、宮田 秀子、兼平 剛志、秋本 敏文

**賛助会員** 山口 実知子、錫切 順子、木下 ハツ子

**ご寄附** SI- 長崎ガーランド、SI- 八代、SI- 熊本さくら、SI- 博多、新井 てつお、安藤 裕子、伊藤 志朗、加藤 弘子、兼平 剛志、鬼頭 猛、児玉 花陽、酒井 純子、錫切 順子、内田 俊隆、岡部 晃子、笠 由美子、樋口 謙一郎、藤田 美江子、富取 善彦、富成 裕一、中井 禮子、野田 泰子、中村 勇、山本 雅子、山口 実知子、渡邊 きぬ子、山の根フリーマーケット、珈琲シャポー、宮田 秀子、藤 恵美子、ソフトバンク(株)、(株)新橋スタンプ商会、三菱商事(株)、JSCO

**マンスリーサポーター** 安藤 芳子、伊東 雄、今村 稔、大下 悟、岡田 耕造、風間 麻実、古庄 弘美、下村 政裕、篠原 昭子、篠原 大作、清水 益美、清水 雄二、藤田 美江子、美甘 政門、三島 康雄、山本 博子、山本 嘉彦、渡邊 剛人

**切手・書き損じハガキ等、外貨等** JSCO、フェリス女学院ボランティアセンター、難民支援協会、世田谷清掃リサイクル部、SI- 大宰府、山際 順子、鶴見 和代、丹波 佐和子、錦織 稜、柗平、菊池 澄子、松本 正子、山本 博子、藤田 美江子、長谷川 隆徳、大島 政子、藤 恵美子、渡邊 きぬ子、曾我 洋子、田路 あつ子、中島 美和

**ご協力いただいた方及び団体** 国連ハビタット福岡本部、国連ハビタット福岡本部協力委員会、福岡県、東京福岡県人会、千代田区社会福祉協議会、ちよだボランティアセンター、国際協力機構(JICA)、地球環境基金、半蔵門駅前郵便局、三菱商事(株)、(株)電通、(株)新橋スタンプ商会、(株)ファラドール、自然食品とみや、シルクストーリージャパン、SUGOSU HITOTOKI、せんだい農業園芸センター、農事組合法人シャン・ドゥ・ミュリエ、札幌市立大通高等学校、トラベルクリエイターズ、エクスチェンジャーズ、インターバンク、(社)日本フィナンソロピー協会、ハビタット福岡市民の会、こどもの夢ネットワーク、(一財)シルクセンター国際貿易観光会館、アジアの女性と子どもネットワーク、長崎大学、エイズ孤児支援 NGO・PLAS、地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム、平野 伸吾、ボランティア・ハビタットフレンズの皆様

**募金箱設置にご協力いただいた企業等** 成田国際空港(株)、東京国際ターミナル(株)、北海道エアポート(株)新千歳空港事務所、中部国際空港(株)関西国際空港(株)、福岡国際空港(株)、博多港開発・西部ガス共同事業体、長崎空港ビルディング(株)、那覇空港ビルディング(株)、逗子市民交流センター、(株)新橋スタンプ商会、(有)岩田時計店、AOKI、珈琲店ストーンズ

ハビタットのロゴマーク

発行：認定NPO法人日本ハビタット協会（発行責任 篠原大作 / 編集責任 山本 博子）

〒102-0092 東京都千代田区隼町2-12 藤和半蔵門コープ103号 TEL / FAX : 03-3512-0355

E-mail : info@habitat.or.jp / URL : https://www.habitat.or.jp

2023年1月発行



HABITAT 日本ハビタット協会

# まちづくり通信 No.42

日本ハビタット協会は、国連ハビタットと共に世界中の人々が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進しています

## 地域の5年後10年後の未来をつくるまちづくり

マリ・クリスティーン

11月15日に世界人口が80億人を超えました。予想を上回る急激な人口増加の理由として国連は、「保健衛生の進歩で人々の寿命が延びた」「母子の死亡率が低下した」ことを挙げています。このままの推移で増えると、2058年には100億人、2080年には約104億人になると推計されており、その人口増加の半数以上はアフリカのサハラ砂漠以南になる見通しで、その人口の3分の2 (68.4%) が都市部に住むと予想されています。

国連人口基金では、「急激な人口の増加は、貧困の根絶、飢餓や栄養不良との闘い、保健教育制度の普及をさらに困難にする。一方で保健・教育・ジェンダー平等などの目標達成が急激な人口増加を防ぐためには必要」との見解を述べています。

このニュースに接した時、私はアフリカのスラムやラオスの学校で出会った子ども達のことを思い出し、困難な状況の中で一生懸命に生きている人々の未来をより良くしていくために、これまで実施してきた様々な事業になお一層力を入れていかなければならないとの思いを強くしました。

私たち日本ハビタット協会では2012年からラオスの環境保全事業を開始し、水不足に悩む地域のための植林を続けており、子ども達の教育環境を整えるために教科書を届けると共に環境教育を続けています。これまでに6,300本もの木が育ち、およそ5,240冊の教科書や絵本を届けることができました。2016年からは、ケニアのビクトリア湖周辺のホームベイ県で人々が安心して使えるトイレを造る事業を実施しており、現在までに1,680基以上のトイレができています。農業収益を上げて自分たちでつくったトイレには手洗いのタンクもついており、人々の衛生と健康を守ることに役立っているのみならず、貧困対策にも貢献しているとの報告を受けています。

ラオスの植林や教科書も、ケニアのトイレも一歩ずつの積み重ねが効果をあげていると私は実感しています。私たちにできることは小さなことですが、その継続が人々の状況改善に役立っているのです。これからも地域の5年後、10年後を見据えながらしっかりと事業を実施していきたいと思えます。

平素よりの皆様の多大なご協力に感謝申し上げますと共に、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## 市民・企業のみなさまに支えられて

当協会の目指す住民主体のまちづくり、そして地域の5年後、10年後を創造するまちづくりは共感して下さった多くの方々のご支援により活動しています。また、市民や企業のみなさまが空港の募金箱回収活動をはじめ、外貨コイン仕分け活動、街頭募金活動などのボランティア活動に参加して下さっています。

住民主体のまちづくりでは、人々が変わり、そして地域社会が変わっていきます。ただ、それにはとても時間がかかり、なかなか分かりづらい部分もあるかと思えます。ですが、人々が着実に変わっていく姿を感じられるのは本当に嬉しく、その喜びをみなさんとしっかりと共有していきたいと思っています。

みなさまの思いと力を、別の国の人々のより良い暮らしにつなげていきます。今後も市民のみなさまと歩んでいきたいと思えますので、ご支援ご協力をよろしく願いいたします。



街頭募金活動



コインの仕分け



イベント出展



# 人々が変わり、そして地域社会が変わる！

## ラオスでの地域住民と取り組んできた環境保全の10年間

### 植林活動



美しい水源と豊かな森は、人々の暮らしを守ります。



ラオス給水公社・浄水場

ラオスでの事業は、2010年に国連ハビタットのメコン川流域の給水・衛生設備建設プロジェクトを支援したことから始まりました。ラオスが発展していくのに伴い、水の需要はますます増えることが想定されたため、給水設備建設だけでなく、そもそもの源泉を守っていくことがとても重要でした。そこで、2012年からラオス給水公社ルアンパバーン事務所と協力して植林活動を開始しました。



事業開始



事業経過

水土保全に役立つ樹木だけでなく人々の暮らしに役立つ果樹も植林しました。また、取り木といった果樹増殖技術や種からの苗木育成指導なども行うことで、住民達の意識が変わり、植林が行われました。水源が守られるだけでなく、人々は野菜や稲作などを安定して行えるようになり、さらに果樹増殖技術により果樹をどんどん増やしたことで、収入が向上し暮らしが良くなっていきました。



たくさん収穫できました！

#### 5年間の植林活動の実績

- 参加者数 1685名
- 植林面積 162.26 ha
- 植林本数 63,112本  
(内、マンゴーなど果樹17,150本)

### 環境教育活動



自分たちで守る地域のより良い未来



観光資源・バクワー洞窟

2018年からはルアンパバーン県内の小中学校を対象に環境教育に取り組んでいます。ルアンパバーン県は自然がとても豊かなため、今後エコツーリズム産業が発展していくと期待されています。また、高速鉄道や高速道路の整備に伴い物流も活性化していく中で、ゴミ処理や環境に配慮した農業の大切さを次世代に伝えていくことがとても大切です。



環境教育のゴミの分別



環境教育授業を通して、子ども達はゴミ分別方法やコンポスト作り、有機農法を学んでいます。農業が主たる産業であるラオスにおいて、環境に配慮した農業はとても重要です。単に学ぶだけでなく環境保全活動の実践も行い、正しい知識と技術を身に付けることで、地域のより良い未来に確実に繋がっていきます。



自然が守られたラオスの人々の暮らしをつくっていきます！

## 2009年からのケニアでの水と衛生への取り組み

### 給水・衛生設備建設



自分達も手付した施設を大切に使っています。

ケニアではHIV/AIDS感染者が多く、清潔な水の供給が求められていました。2009年6月から国連ハビタットとの協働事業として農村地域での給水・衛生設備建設を開始しました。2014年9月からは、ケニア西部ヴィヒガ県の小中学校においてトイレと手洗い場などの設置を行いました。トイレ建設や貯水タンク設置には生徒達も参加し、資材の運搬作業などを手伝いました。自分達で設置したものだ子ども達はさらに大切に使うようになります。



### スマイルトイレプロジェクト

世界では3人に1人がトイレを利用できず、この状況はなかなか変わっていませんでした。清潔なトイレは単に衛生環境を改善するだけでなく、貧困や教育、健康、ジェンダー平等の問題解決につながる「まちづくりの特効薬」です。2016年8月からホームベイ県カボンド地区において各家庭にトイレと手洗い場を建設する「スマイルトイレプロジェクト」が開始し、2019年8月からはJICA草の根技術協力事業として実施しています。

各家庭のトイレ建設は住民自身で行い、建設費も住民が負担します。そのため、まずワークショップを開催し、住民にトイレの大切さを理解してもらい、やる気になった住民が実際にトイレを建設ができるよう建設技術指導も行っていきます。中には建設費用を捻出できない家庭もあるので、そうした家庭には農業指導も行い所得向上にも取り組んでいます。



清潔なトイレは様々な問題解決につながります！



住民主体の実態調査



ワークショップ



トイレが変われば意識も変わる



一步一步前進しているプロジェクト



建設技術指導



そうすることで住民の意識が変わり自分達でトイレを建設するようになりました。また活動をサポートしてくれる各村の保健衛生員は女性がほとんどなのですが、女性のエンパワーメントにもつながっています。実施した地域では、事業実施前は40～60%だったトイレ普及率がほぼ100%になりました。各家庭で用意できる資材を用いた個性的なトイレが建設され、簡易の手洗い場の普及も進んでいます。中には、日本企業のLIXIL製便器「SATO Pan」を導入したトイレもあります。

一方で、家庭でのトイレが整っていくに従い、学校のトイレや水、女性の生理問題などあらたな課題も出てきています。一つひとつ解決していき、総合的な衛生が改善された地域社会をつくっていければと考えています。

トイレでより良いまちをつくっていきます！